



マリ



Republic of Mali



西アフリカの内陸国マリは、セネガル川とニジェール川がその広大な国土を潤し、多様な民族が、それぞれ独自の文化や価値観を持ちながら共存しています。マリには4つの世界遺産（泥の建造物郡があるジェンネ旧市街、ソンガイ帝国の皇帝アスキアの墓、ドゴン族の居住区バンディアガラの断崖、トゥアレグ族の都市トンブクトゥ）があり、どれも見応えがあります。来訪者に対してフレンドリーでオープンな人々が暮らすマリへの旅は、多様な文化と歴史、そしてあたたかい人々との出会いが待っています。



正式国名：マリ共和国

首都：バマコ

人口：2,329万人（2023年 世銀）

時差：日本より9時間遅れ

言語：フランス語（公用語）、バンバラ語等

通貨：CFAフラン

宗教：イスラム教 80%、伝統的宗教、キリスト教

産業：農業（綿花、米、ミレット、ソルガム）、畜産業、鉱業（金）

現地までの行き方

現地事務所までの交通手段は、訪問者側で手配してください。

日本～マリ（バマコ・セヌー国際空港）～バマコ市内



マリへの玄関口は首都バマコ近郊にあるバマコ・セヌー国際空港です。日本からの直行便はありませんが、中東や欧州経由などの乗り継ぎ便を利用して行くことができます。バマコ・セヌー国際空港から市内までは、タクシーで約 20 分です。

バマコ～現地事務所～チャイルドのコミュニティ

* 現地事務所からコミュニティまでは、現地事務所が車を用意してご案内いたします。

■#1015 キタ コウロウ (Kita-Kourou)

バマコから西へ約 185km、車で 3 時間半ほどかかります。

■#6128 ブグニ (Bougouni)

バマコから南へ約 95km、車で 1 時間 15 分ほどかかります。

■#6129 ディオイラ (Dioila)

バマコから東へ約 180km、車で 2 時間半ほどかかります。

周辺地図



訪問に適した時期

短い雨季（6月～9月）と、長い乾季（11月～5月）があり、11月から5月までの乾季にご訪問されることをお勧めします。地域によって気温、降雨量が大きく異なり、北部の砂漠地帯では降雨量が少なく、南部は亜熱帯気候で降雨量が多く昼夜の温度差が大きくなります。雨季は、農繁期にあたるため、住民の多くは農作業に追われます。また、雨季は道路状況が悪化し通行が困難となるため、ご訪問には適していません。年間の平均気温は30度ですが、夏は40度まで上がることがあります。服装は夏服が適していますが、朝晩の冷え込みに備え、上着やカーディガンなどをお持ちになるとよいでしょう。

現地事務所の営業時間

月曜日～金曜日 7:30～15:30 ※土日・祝日はお休みです

マリの主な祝祭日

1月1日	新年	6月14日	*ラマダン明けの祭り (Eid al-Fitr)
1月20日	軍隊の日	8月6日	*預言者の洗礼の日
3月26日	殉教者の日	8月21日	*犠牲祭 (Eid ul Adha)
4月2日	*イースターマンデー	9月22日	独立記念日
5月1日	メーデー	11月19日	*モハメッド生誕祭
5月25日	アフリカの日	12月25日	クリスマス

*マークは毎年日付が変わります。上記はある年の例です。

現地スタッフとの待ち合わせ

マリに到着されましたら、現地事務所へご連絡ください。ご訪問の最終確認を行います。事務所の連絡先は、ご出発前にお知らせいたします。なお、事前にご連絡いただければ、現地職員がホテルまでお迎えにあがります。

言語と通訳

マリでは32の民族語が話されています。公用語はフランス語ですが、約8割の人々は共通語としてバンバラ語を話します。*現地では職員が英語でご案内します。

両替・銀行・クレジットカード

西アフリカの多くの国でセーファーフラン（CFA）が使用されていますが、マリでは、CFA Franc BCEAO（XOF）が使用されています。ユーロまたは米ドルは、主要ホテル、バマコや各都市にある銀行で両替できます。主要クレジットカードは、4つ星もしくは5つ星ホテルと、一部のレストランでのみ利用可能です。トラベラーズチェックは、両替に手数料や時間がかかるため、お勧めしません。

【銀行の営業時間】月～木＝8:00～12:00/13:30～15:00・金＝8:00～12:30

宿 泊

バマコのホテルを以下のようにご案内いたしますので、ご参考の上、コミュニティの起点となる都市でのご宿泊手配をお願いいたします。旅行会社、または宿泊予約サイトなどをお使いいただき、ご自身でお手配ください。お手配が難しい場合は、日本事務局にご相談ください。

ホテル名	住所、電話番号、ウェブサイト
Azalai Hotel Salam	Tel: +223 20 22 12 00 / 63 11 83 10 / 77 23 79 65
Azalai Grand Hotel	Ave. Van Vollenhoven, Bamako BP1060 Tel: +223 20 22 24 92 / 20 22 26 01 / 63 11 83 10 / 77 23 79 65 Email: reservationagh@azalaihotels.com WEB: https://www.azalai.com/en/grand-hotel-bamako
Hotel Onomo	Tel: +223 20 29 69 00 / 20 29 69 01
Hotel Residence Coccinelle	Hippodrome, Route de koulikoro, Rue 251, porte 82, Bamako Tel: +223 20 21 17 13 / 20 21 16 13 WEB: https://hotellacoccinelle.com/hotel-services/
Granada Hotel de l'Amitié	Bozola, Avenue de la Marne - Centre Commercial , Bamako BP 1720 Bamako Avenue de la Marne Tel: +223 44 97 53 00 / 20 21 43 85 Email: reservations@hotel-lamitie.com
Orpheus Dream Village Hotel	Tel: +223 20 77 64 94 / 74 04 20 20
Hotel Mansé	Tel: + 223 76 43 10 08

現地の習慣・留意事項

- 挨拶時には握手をする習慣があるため、ご訪問の際にはたくさん握手することになるでしょう。訪問者はコミュニティ全体で歓迎します。
- チャイルドやコミュニティの住民は、人見知りしてなかなか話づらいことがあります。訪問前に、手紙や報告書を読み返し、こちらからも積極的に質問や話題を用意されていくことをお勧めします。
- チャイルドや地域住民の前でキスをするのはお控えください。
- 敬虔なイスラム教徒が多いため、露出の高い服装は避けてください。男性は長ズボンを着用ください。女性は丈の短いスカートやワンピースなどの着用は控え、肩や膝の出ない服を着用してください。モスクなどの宗教施設を訪問される際には、イスラム教の規則に準じた身だしなみを心がけてください。
- 訪問者にお土産を渡す習慣がありますので、快くお受け取りください。持ち帰ることができないお土産（ニワトリや山羊など）を贈られた場合には、同行の現地職員にご相談ください。
- 活動地域では、写真撮影が禁止されている場合がありますので、撮影前に必ず現地職員にご相談ください。政府

の建物、空港、橋やダム、警察や軍の関連施設などは撮影が禁止されています。また、チャイルドやファミリー、学校やコミュニティなどの写真をお撮りになる際にも、必ず事前に了承を得てから撮影してください。

- 身分証明書（パスポート等）は必ず携行してください。
- 公共交通機関（バス）の利用はお避けください。
- 夜間の移動は、車利用であったとしてもお避けください。
- 近隣諸国（モーリタニア、アルジェリア、ニジェール、ブルキナファソ）から車での入国はお避け下さい。
- スリに気をつけ、貴重品の携帯には十分注意してください。旅行中は多額の現金や貴金属類を持ち歩くことはお避けください。
- 飲料水はミネラル・ウォーターをご利用になり、生水はお飲みにならないようご注意ください。また、飲み物に入っている氷や生野菜のサラダにもお気を付けください。
- 屋台で売っている食べ物や飲み物はお避け下さい。
- 薬は現地では手に入りやすく種類も異なるため、ご出発前に準備され、手持ちのバッグなどに入れて携行してください。
- コレラやマラリアの対策を行ってください。露出の高い服装は避け、虫よけスプレーなどをご用意ください。
- マリは日差しが強いので帽子、サングラス、日焼け止めをお持ちください。
- 現地の法律を遵守してください。

- チャイルドと家族とは、自宅ではなく、コミュニティの中の学校や集会所など公共の場で面会・交流いただきます。
- チャイルドをコミュニティから連れ出すことや、コミュニティでのホームステイはできません。
- ファミリーから現金や物を要求するような発言があった時、現場での説明、通訳、諸費用の支払いについて問題をお感じになった場合は、その場で現地職員に伝えてください。
- あらゆる種類の麻薬の売買・所持、および子どもとの性行為は厳罰に処せられます。
- 撮影した写真や動画を個人利用以外にソーシャルメディア(SNS)やインターネットへの投稿、印刷利用等される場合は、事前にプラン・インターナショナルが確認させていただきます。お断りする場合がありますのでご了承ください。チャイルドや家族など、個人が特定されるのを防ぐため、**掲載いただけない情報があります。**
- お互いの個人住所や連絡先、SNSのアカウント等の交換はできません。

渡航前の準備

- パスポート（残存有効期限3か月以上）、ビザ等の必要書類の準備をお忘れなく。
- 入国に際しては黄熱接種証明書（イエローカード）が必要です。
- 年間を通じてマラリアが流行しているため、マラリア予防薬を服用されるなど対策を行ってください。また、コレラの予防ワクチンも推奨されています。
- 海外旅行損害保険には必ずご加入ください。
- 渡航先の安全に関しては外務省の情報等でご確認ください。

- ◇ 外務省領事サービスセンター（海外安全相談班）：（代表）03-3580-3311（内線 2902、2903）
- ◇ 外務省海外安全ホームページ： <http://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>
- ◇ 海外渡航者のための感染症情報： http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/index.html

- 訪問時に、見たいこと聞きたいことなどが具体的にありましたら、「訪問予定メモ」などで事前にプラン事務局までご相談ください。
- 連絡先のリストをお忘れなくお持ちください。現地事務所の連絡先は出発前にお知らせします。

チャイルドにおみやげを持っていく場合

- ご訪問いただくこと自体が、チャイルドや家族にとっては大きなプレゼントですので、お気遣いのないようお願いいたします。
- 現地での購入もできます：プランとしては、現地経済への貢献などを考えて現地での購入をお勧めします。文化・習慣の違いなどもありますので、事前にご相談ください。現地職員と共に購入する場合、現地職員は好まれる品物を紹介はしますが、購入は義務ではありませんのでご予算の範囲内でお買い求めください。
- 日本からお持ちになる場合は、通関等の問題にならない範囲でご検討ください。**同一商品を数十個以上の単位で持ち込むことは通関等でトラブルになる可能性があります**。万一、課税される場合は訪問者の負担になりますのでご注意ください。
- 高価なおみやげはご遠慮ください：チャイルドが健やかに育つには、地域全体の生活向上が不可欠です。あるチャイルドや家族だけが高価（貴金属、電子機器など）なギフトをもらうことにより、地域の調和を乱してしまうおそれがあります。
- コミュニティには他にも多くの子どもたちがいることにもご配慮ください。

◎ 適切なギフトの例：

- 知育玩具、絵本、パズル、シール
- 学用品（鉛筆、クレヨン、ノートなど）
- 日用品（石けん、歯ブラシ、タオル類など）
- グループで一緒に遊べるもの（ボール、風船、縄跳び、フリスビーなど）
- 日本の文化を紹介できるもの（折り紙、人形、コマ、日本の絵葉書、日本の生活が分かる写真など）
- 大勢で分けられる飴やグミなどのお菓子

× 不適切なギフトの例：

- 現金（いかなる場合も渡さないでください）
- 変質しやすく、食中毒を起こす可能性のある食べ物や、口にすると危険な乾燥剤の入っている包装菓子など
- 現地では高価なもの/高価に見えるもの（電気製品、時計、ネックレス、指輪、バッグ、自転車、電池を使うおもちゃなど）
- 中古品（汚れや破れのある古着、使い古しの学用品）
- その他（翻訳が必要な本、薬、好き嫌いのある和菓子など）

もっと詳しい情報はこちらで！

- ◇ マリ共和国大使館 〒141-0021 品川区上大崎3-12-9 Tel : 03-5447-6881
<https://www.ambamali-jp.org/eng/>
- ◇ 外務省国情報ページ <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mali/index.html>
- ◇ 海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>
- ◇ 駐日外国公館リスト <https://www.mofa.go.jp/mofaj/link/emblast/index.html>
- ◇ たびレジ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/agree.html>
- ◇ 在マリ日本国大使館 https://www.ml.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html